



# Flash News

三重大学

第55号

目次

- 「記者と学長との懇談会」を開催
- 「人材養成の目的を明確化した大学院教育改革」が文科省特別教育研究経費に採択
- 「三重大学伊賀研究拠点の形成事業」が文科省の政策課題対応経費に採択
- 「地域・職域との連携による保健医療支援事業」が文科省の政策課題対応経費に採択
- 「業務改善活動推進グループ」を設置

- 「アジア人財資金構想推進フォーラムin東海」に参加
- タイ・タマサート大学とポリコムで調印式
- 平成20年度キャンパス・インキュベータ入居企業決定
- 「新春三重大学・三重TLO産学官講演会・交流会」を開催
- 地域の知の拠点シンポジウム  
「今日からはじめる防災の取組」を開催
- 「平成19年度業務改善活動報告会」を開催

お知らせ&ご報告

- 広報チームから
- 総合情報処理センターから
- 国際交流センターから

## 「記者と学長との懇談会」を開催



1月29日、法人化後初めての試みとなる標記懇談会を開催しました。この懇談会は「大学からの情報発信の重要性がますます高まる中、社会に開かれた大学を目指す本学が、大学のトピックス、教育・研究成果、社会連携・地域貢献、情報・国際交流などに関する情報を報道機関の記者の方々に提供すると共に、記者の見地から本学への意見を伺うなど双方向のコミュニケーションを図る」ことを目的に開催されたもので、報道機関から9社の記者に出席いただき、活発な意見交換が行われました。終了後も記者の方々は、理事に対して質問を投げかけていました。また、今後もこのような機会を設けてほしいとの声も多くいただきました。

## 「人材養成の目的を明確化した大学院教育改革」が文科省特別教育研究経費に採択

文部科学省の20年度標記経費に、本学の「人材養成の目的を明確化した大学院教育改革－産業界や学生のニーズに応える高度専門技術者の育成－」が採択されました。このプログラムでは、既存の各専攻を串刺しにするような研究領域を設けることで、社会連携戦略に基づいた先端的な研究や融合研究プロジェクトの立ち上げをやりやすくし、さらなる研究・教育の活性化を目指します。また、この体制のもとに、従来の講義形式を基本とした画一的な大学院カリキュラムではなく、人材養成の目的に沿ったコースワーク制を基本とした新たな大学院教育プログラム、「研究領域コース」と「創成工学コース」を設置し、産業界と学生からの多様なニーズに応えた高度専門技術者を育成することを目的として、大学院教育を進めていきます。

## 「三重大学伊賀研究拠点の形成事業」が文科省の政策課題対応経費に採択

文部科学省の20年度「特殊要因経費（政策課題対応経費）」に、本学の「三重大学伊賀研究拠点の形成事業－サテライトキャンパスの創設と地域振興－」（実施責任者：前田広人教授・生物資源学研究所）が採択されました。このプログラムは、伊賀市に三重大学研究拠点を開設し、伊賀市ならびに三重県等と連携して、環境・食・文化に関する新産業育成を図るとともに、文化的啓発活動を通して地域活性化に貢献することを目的としています。また同時に、地域企業と連携して、大学の研究領域の拡充と卒業生の就職機会の増大を目指しています。新研究施設は1500平米の3階建て伊賀市がゆめが丘に建設します。オープンは、2009年3月の予定です。

## 「地域・職域との連携による保健医療支援事業」が文科省の政策課題対応経費に採択

高齢社会の到来により国民の健康と医療をめぐる状況は大きく変わりつつあり、大学は、その専門的立場から社会が求める健康・医療の課題に対して適切な助言と支援を行うと同時に、これらの課題を解決するための医療人や保健専門家の育成に貢献することが求められています。このため、本学では平成17～19年度「地域再生支援事業」により「地域医療再生プロジェクト」を展開してきました。さらに、文部科学省の20年度「特殊要因経費（政策課題対応経費）」に、本学の「地域・職域との連携による保健医療支援事業－地域・職域保健医療支援センターの設置と運用－」が採択され、各種の学内外活動を総合的に調整し、かつ専門的な知識・技術や最新の研究成果に基づいて支援する体制を整備することとなりました。

## 「業務改善活動推進グループ」を設置

12月13日、標記グループの第1回会合が開催されました。このグループは、中期目標・中期計画に掲げる「目標チャレンジ活動の中の業務改善活動」のより一層の推進・普及・定着化を図るために設置されたもので、メンバーは、豊田学長のもと若手事務職員11名で構成されています。今後、(訓)日本技能教育開発センターが主催する「通信教育講座」を受講し、そこで培ったノウハウを活かしながら業務改善の中心となり、同活動の推進を図っていきます。

「アジア人財資金構想推進フォーラムin東海」に参加

12月14日、名古屋のホテルキャッスルプラザにおいて、東海地域におけるアジア人財資金構想高度実践留学生育成事業の開始をアピールすることを目的に標記フォーラムが開催され、本学からは、小林副学長および同事業に参加している外国人留学生の代表が出席しました。中部経済産業局長による「アジア人財資金構想の背景とねらい」と題した講演の後、アジア人財資金構想事業の説明、参加留学生から自己紹介と抱負が語られ、最後に小林理事から本事業および留学生に対する期待が述べられ、盛会のうちに終了しました。

タイ・タマサート大学とポリコムで調印式



1月15日、附属図書館会議室において、タイ国タマサート大学との大学間交流協定調印式をポリコム（ビデオシステム会議）により執り行いました。調印式には、学長、小林理事、後藤国際交流担当学長補佐と生物資源学研究所の加納副研究科長、神原学務委員長、前田教授、江原教授が、タマサート大学からはSurapon学長、Chulacheeb国際交流担当副学長をはじめ科学技術学部長、同学部国際交流担当および学務担当学部長補佐が出席しました。

平成20年度キャンパス・インキュベータ入居企業決定

平成20年度三重大学キャンパス・インキュベータの入居企業が決定しました。新規・継続を合わせて11社の申請があり、一次審査（書類）と二次審査（面談）を行った結果、8社の入居が決まりました。今後、入居企業が大きく成長し、新規事業の創出や地域経済の発展、教育・研究に寄与することが期待されます。

- 「平成20年度入居企業」
- ・(株)イーラボ・エクスペリエンス
  - ・(株)医用工学研究所
  - ・(株)H I D
  - ・(株)機能食品研究所
  - ・(有)細胞外気室研究所
  - ・(株)データスピリット
  - ・P & Dパートナーズ(株)
  - ・(株)プリンシプル

「新春三重大学・三重TLO産学官講演会・交流会」を開催

1月23日に、講堂（三翠ホール）において、標記交流会が開催されました。第1部として、豊田学長ならびに三重TLO円城寺代表取締役の挨拶の後、武田保雄教授・工学研究科長による「高性能電池への期待－最新リチウム電池事情」と題した講演が行われ、続いて第2部として、野呂三重県知事の挨拶の後、東海旅客鉄道株式会社代表取締役社長の松本正之氏による、「JR東海の20年」と題した講演が行われました。三重TLO会員企業をはじめ満席の参加者で盛況な講演会となりました。講演の後、松本社長、豊田学長を囲んで和やかな雰囲気の中懇親会が催されました。（写真：右から JR東海 松本社長、野呂三重県知事、豊田学長）



地域の知の拠点シンポジウム「今日からはじめる防災の取組」を開催

1月27日、標記シンポジウムが三重県総合文化センターで開催されました。このシンポジウムは、三重県の進める「『地域の知の拠点』連携・創造プログラム」の一環として三重大学と三重県が共同で開催したものです。シンポジウムでは、本学の奥村理事の挨拶に続き、川口准教授・工学研究科による基調講演が行われました。引き続き、「今、私たちができることを考える」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストとして櫻井教授・医学系研究科看護学科、浅野准教授・工学研究科が参加しました。また、附属図書館と県立図書館所蔵の防災関連資料の展示も行われ、約100名の参加者の関心を引いていました。

「平成19年度業務改善活動報告会」を開催

1月29日、本学が中期目標・計画に掲げる目標チャレンジ活動の一環として、事務職員による標記報告会を開催しました。豊田学長による講話「問題解決の手法を身につけよう」に続き、各学部等から推薦された8グループの活動報告が行われ、役員等による審査の結果、4グループ（「学部事務業務改善グループ07」（生物）、「ステップアップ」（工学）、「福利厚生グループ」、「施設管理チーム」）が「優秀賞」を受賞しました。

お知らせ&ご報告

広報チームから－《情報化シンポジウム・イン・三重》

開催日：3月7日 参加者：一般・学生・近隣自治体の方々 開催場所：総合研究棟Ⅱメディアホール

総合情報処理センターから－《Office ライセンスを2008年4月から取得予定》

本学は、Microsoft Office の包括契約を準備しており、2008年4月（予定）から本学教職員および学生（教育学部附属学校園の教職員・生徒、非常勤職員の一部、非正規学生の一部は対象外）がMicrosoft Office 製品を利用することが可能となります。さらに、自宅パソコンでの利用が許諾されていることや、常に最新バージョンを使用する権利を受けられますので、Microsoft Office 製品群の購入を控えていただくことをお勧めします。詳しくは、総合情報処理センターのホームページ上の「Microsoft Office 包括契約について」（学内制限）（<http://www.cc.mie-u.ac.jp/cc/i/ms-office.html>）をご覧ください。

国際交流センターから－《学長表敬訪問&大学訪問》

- 中国河南省農業科学院代表团
1. 日 時：平成19年11月28日（水）15：15～15：30
  2. 訪問者：朱 止民副院長 他3名
  3. 同席者：片桐社会連携コーディネーター（生物資源学部・生物資源学研究所）

- 中国河南省滎陽市政府・現地担当者
1. 日 時：平成19年12月3日（月）11：30～12：00
  2. 訪問者：武 今朝滎陽市人大常務委員会主任 他3名
  3. 同席者：三重県日中友好協会 中井 均 事務局長

- DEAKIN University
1. 日 時：平成20年1月7日（月）10：00～12：00
  2. 訪問者：エリック・フー准教授
  3. 同席者：西村工学研究科助教

- インドネシア・Ministry of National Education
1. 日 時：平成20年1月17日（木）13：00～14：30
  2. 訪問者：Tresna Dermawan kunaefi Director for Academic 他2名
  3. 同席者：江原生物資源学研究所教授

